

施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	魅力ある教師の育成	施策No	04-05	部課名	教育委員会事務局指導室		
				課長名	津野	内線	3380
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課、荒川区立教育センター						
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				

目的 荒川区の未来を担う子どもたちが、たくましく生きる力を培い、地域社会の構成員として信頼と尊敬を得られる人間性豊かな人として成長するために、その師としてふさわしい、魅力ある教師の育成を目指す。

	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	「生きる力」の習得度	3.54	3.55	-	お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？
②	子育て・教育環境の満足度	3.54	3.59	-	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？
③	望む子育てができる環境の充実	3.28	3.38	-	自分が望む子育てができるような環境があると思いますか？
④					

	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	先生がアドバイスをしてくれると感じている児童生徒の割合(%)	74.3	76.7	78.9	79.5	80.00	「学校関係者評価」より
②							
③							
④							
⑤							

（単位：千円）

	勘定科目					勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	8,063	83,863	75,800	行政収入	地方税等	0	0	0
	物件費	32,346	2,972	▲ 29,374		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		都支支出金	10,774	52,879	42,105
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	12,221	10,238	▲ 1,983		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	10,774	52,879	42,105
	賞与・退職給与引当金繰入額	780	5,250	4,470		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 42,636	▲ 49,444	▲ 6,808
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	53,410	102,323	48,913		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 42,636	▲ 49,444	▲ 6,808
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 42,636	▲ 49,444	▲ 6,808

	勘定科目					勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
貸借対照表	流動資産	0	0	0	流動負債	237	2,152	1,915	
	収入未済	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	237	2,152	1,915
	有形固定資産	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0		固定負債	1,673	4,537	2,864
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0		退職給与引当金	1,673	4,537	2,864
	工作物等	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0		負債の部合計	1,910	6,689	4,779
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	▲ 1,910	▲ 6,689	▲ 4,779
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	▲ 1,910	▲ 6,689	▲ 4,779
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		
資産の部合計	0	0	0						

財務諸表に関する特徴的事項等

○令和元年度は、行政費用として物件費の割合が高くなっており、主に教育指導事務費における賃金等が占めており、次いで給与関係費の割合が高くなっている。令和2年度における、給与関係費及び賞与・退職給与引当金繰入額は、人事異動・業務分担の見直しによる職員体制の変更、スクールサポートスタッフの配置拡大、会計年度任用職員としての任用の開始により、増大している。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○21世紀の知識基盤社会にたくましく生きる荒川区民を育成するために、教師の教育に対する使命感や指導力の向上に努めている。</p> <p>○「学校関係者評価」における「先生がアドバイスをくれると感じている児童生徒の割合」が80%近く出ており、信頼されている教師が多くいる。</p> <p>○様々な経験を持つ教師が相互に学び合い、互いに指導技術を高め合うことができるように、教育委員会は、「研究指定校事業」「荒川区教育研究会への補助事業」など、研究の活性・充実を支援している。</p>
課題	<p>○新学習指導要領の趣旨に沿った授業改善が求められている。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を進め、効果的な学習・指導方法を開発することを促す研修を行う必要性が高まっている。</p> <p>○教師の膨大な事務作業等に伴う校務の多忙化を解消することにより、子供と向き合う時間を確保することが必要である。</p> <p>○教師の信頼を更にも高めるため学校の取組を明確に伝え、地域とともに子どもたちを育てていく意識を更に向上させていくことが必要である。</p> <p>○新型コロナウイルス感染対策が実施される状況下においても、研修、研究会などの教員の育成の機会を確保する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○経験年数や、職層に応じた多種多様な研修会を更に充実させ、教育に対する使命感や専門性の高い、実践的指導力を持つ教師を育成していく。</p> <p>○スクールサポートスタッフ、副校長事務補佐の活用等により、教師の事務作業量を減らし、働き方改革を推進するとともに、教師本来の姿である子供と向き合う時間を確保する。</p> <p>○学校運営の見直し等により地域と連携するための準備の時間などを確保し、地域とともに子どもを育てていく意識を持った教師の育成を目指す。</p> <p>○ICT機器等の活用により、教員育成のための研修、研究会等の機会を確保し、効果的な内容を検討していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>子どもの教育に情熱と使命感をもつとともに、荒川の教育に誇りを持ち、意欲的に取り組む教師を育成し、充実した学校教育の進展を図る。</p>

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
教職員表彰	13-01-04	465	427	49	30	継続	継続	表彰が教職員にとってより一層の励みとなるとともに、全体のモラルアップ及び学校教育の充実を図るため、継続して実施する。
その他教育活動費	13-01-05	7,817	7,207	4,493	4,057	継続	継続	教職員の資質向上と充実した学校教育の発展のため、継続して実施していく。
教育研究会補助	13-04-22	5,000	4,527	4,011	3,467	推進	推進	教職員自らの創意工夫を生かした教員研修を支援する。
研究指定校事業（区）	13-04-23	2,392	4,221	1,403	1,051	推進	推進	企画提案を受け、校内研修の充実を図る。
教育指導事務費	13-04-37	32,556	82,089	31,017	76,683	継続	継続	区教育行政の充実及び安定した学校経営の維持のため継続する。
教職員研修事業（研修費、人権教育研修費）	13-05-05	5,179	3,848	3,593	2,503	推進	推進	今後もきめ細かく研修の充実を図る。
合 計		53,409	102,319	44,566	87,791			